

●H23年度:筑後川源流の碑設置プロジェクト

除幕式:平成23年11月19日

場 所:平野台高原(南小国町)



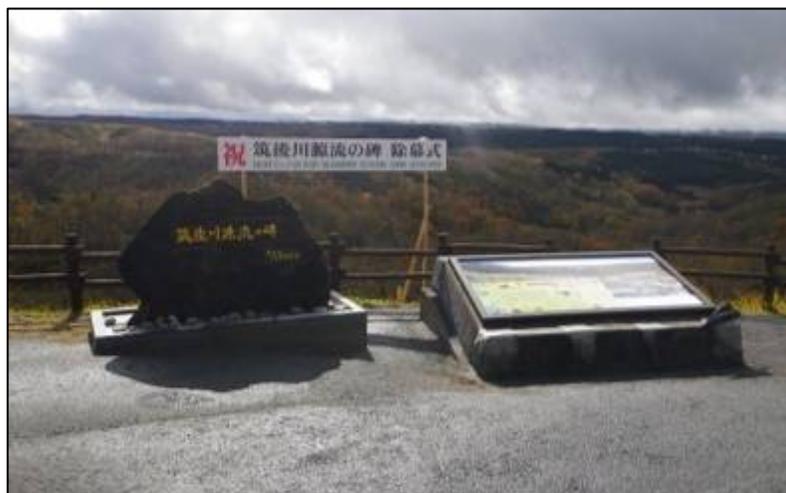
“筑後川源流碑除幕式”



筑後川源流の碑

南小国町長 河津修司 書

建立:平成23年11月吉日



筑後川源流の石碑設置 南小国町

南小国町や国土交通省筑後川源流を不ず石川河川事務所などによる筑碑(高さ1.5m、幅2.5m)は、同町満願寺の平野台高原町内産の石を従っており、近くに町内の観光地や流域地区を示した案内板も設置した。

19日は同会議メンバーや下流域の家族連れなど約40人が参加して除幕式があった。河津修司南小国町長は「中流、下流域の活性化につなげたい」と話した。

同会議は、源流域の自然保護啓発と流域交流促進のため2010年8月に発足。今年3月、大分県九重町に初の石碑を設置した。来年度は同県日出市の津江川上流にも設ける予定。(山本遼)



(除幕式参加者 45名)

・うきは市:小学生・保護者	3名
・朝倉市:小学生・保護者	7名
・佐賀市:小学生	2名
・南小国町:小学生	3名
・筑後川源流プロジェクト会議	30名



# 筑後川源流から143kmの旅

## 筑後川の水は恵みをのせて、上・中・下流を潤し、そして有明海へ

### 福岡市街

福岡市街の市民が、日頃使っている水の3分の1が、筑後川の水です。福岡市民にとっても、筑後川は大切な川となっています。



■三連水車／朝倉市  
水田へ水を導く自動回転式水車です。300年前から朝倉の農業を支えてきた国指定史跡で、今も廻り続けています。

筑後川は、全長143km。ここ阿蘇くじゅう国立公園の瀬ノ本高原を源流の一つとして筑後平野を貫流し、有明海に注ぎます。この豊かな筑後川は流域に暮らす多くの人々や、生き物に、さまざまな恵みをもたらし、育んできました。わたしたちは、この筑後川の上流域・中流域・下流域で暮らす人々が交流し源流をまもる象徴として、ここに源流の碑を建立しました。  
(平成23年11月吉日)

### くらそめの滝／九重町

落差7m程ですが、四季折々の表情が豊かで厳冬時には氷瀑をみるることができます。



■有明海の海苔  
有明海の潮苔は、筑後川の豊かな恵みを受けて、6月の干満の差を利用し満潮時に栄養を高め干満時に旨味を閉じ込める方法で作られています。



■昇開橋／大川市・佐賀市  
昭和62年に廃線となった佐賀線の橋を利用し、歩道橋として生まれかわった、興味をつなぐ可動式の橋です。



■耳納連山と菜の花／久留米市  
圧的な存在感から原山と呼ばれています。春には菜の花が咲き乱れ、頂上からは筑後川の流れを眺望できます。

★現在地  
[平野台] 阿蘇市  
源流の碑(南小国)

- ★…日本の地質百選
- ★…日本の百名山
- ★…日本の棚田百選
- ★…日本の滝百選
- ★…国水百選
- ★…ダム百選
- ★…名水百選
- ★…平成の名水百選